

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.14) 2007.6.30

もくじ

1. 4 月度 定期ボランティア活動・報告
＜防獣柵の移動作業＞
2. 4 月度 定期ボランティア活動・報告
＜春の一般公開サポート・ガイド＞
3. 4 月度 臨時ボランティア活動・報告
＜特別巡林パトロール＞
4. 5 月度 定期ボランティア活動・報告
＜造林研修会聴講と歩道標識杭の準備、設置＞
5. 7 月度 定期ボランティア活動・募集案内
＜高校生ゼミナールサポート＞
6. 8 月度 定期ボランティア活動・募集案内
＜夏の森林教室サポート＞

4 月度 定期ボランティア活動・報告

～ 防獣柵の移動作業 ～



防獣柵の移動作業

ボランティア 石川 輝雄
石川れい子

平成 19 年度最初の定期ボランティア活動である防獣柵の移動作業が 4 月 5 日(木)に日帰りで行われ、石川(輝)(れい)の 2 名が参加しました。雨天の場合も考え、翌 6 日を予備日としましたが、幸い当日は

まあまあの天気です支障なく作業をすることが出来ました。

朝9時00分に清澄作業所に集まり、職員の大塚さんの運転する車で作業する場所にでかけます。今日の作業場所は川台の見本林です。七里川にかかっている吊橋の対岸にあり、何回か下刈り作業などをおこなっているおなじみの場所です。

ここで札幌の鈴木主任をはじめとした札幌の職員の方々と合流して作業にとりかかりました。

午前中は一番上側の川台17D2・D3の周囲の防獣柵の撤去作業です。この場所にはスギの苗が植えられていて過去に下刈り作業を行った場所ですが、すでに2m以上の高さに育っていて、もうシカに食われる心配はなくなっていました。作業は柵の網をとめてある針金をほどいて、固定用の杭を抜きながら網をはずしてまとめる作業で午前中に完了しました。

なお、普通ですとこの後に苗の下に生えている草の下刈りが必要なのですが、そのままにしておいてもここではシカが食べてくれるとのこと、ここではシカが役にたっています。

午後は午前中に撤去・回収した網をつかって新しい場所での防獣柵づくりです。場所は同じ林班の一番下側・手前の川台17Eです。



キブシ



クロモジ

ここはすでに草木が刈られ整地もされています。午前中とは逆に固定用の杭をたてた後に網を周囲にまわして針金で固定していく作業をしました。

この場所には広葉樹の苗が植えられるとのこと、今後何回か下刈りなどの活動の場所になります。ほぼ予定通り夕方4時ころには作業が完了して帰路につきました。

4 月度 定期ボランティア活動・報告

～春の一般公開サポート・ガイド～

ボランティア 相川 美絵子



流量豊かな黒滝

これまでの春の一般公開は2日間でしたが、今年は初めて4日間となり、4月の14日、15日、21日、22日が公開日でした。私は前半の14日と15日に参加しました。15日と21日には水戸の石塚サントラベル(株)のガイドがありましたので、15日はそのガイドもしました。

前日の14日未明の大雨は、朝にはピタリと止んで快晴となり、暖かな陽気になりました。しかし雨の印象のためか来る人はそれほど多くなく、受付やパトロールの合間に動植物をみんなで確認して、多くの発見がありました。雨の滴にみずみずしいミヤマハコベ、シコクハタザオ、ヒメウツギ等の花々が見られ、この時期、こんなに多くの花が見られる

ことを初めて知りました。珍しく黒滝の流量が豊かで、柔らかい新緑に包まれていました。

15日は水戸から来た石塚サントラベル(株)主催の自然観察会のガイドです。この日の担当は石川(輝)、恵さんと相川の3名です。長崎十字路に40名ほどの乗客を乗せた大型バスが到着し、折木沢ボート手前の駐車場で2班に分かれてガイドしました。どんなガイドをすれば満足してもらえるか不安でしたが、思ったよりも動植物や演習林の話に興味を持って下さり、熱心に質問もされたので、なるべく丁寧にガイドをしました。この猪ノ川林道は試験地や特徴的な見どころが多くて道幅もちょうどよく、自然観察に適しているルートだなあ、と思いました。私にとって大人数の20名を率いるのは心配だったのですが、説明ポイントでは後ろの人が追いつくのを少し待つようにし、恵さんのフォローと、参加者の皆さんが協力的だったのでまとまりがあってほっとしました。おかげでゆっくりになってしまって柚ノ木歩道へは上がれず、帰りの道はガイドする余裕がなくなりましたが、普通に歩くだけでは知ることのできない、千葉演習林ボランティア会 Abies ならではのガイドに満足していただけたと思います。今後も Abies にガイドの依頼が入ると思いますが、演習林や森林について多くの方にその良さを伝えられれば嬉しいです。

事務局追記

今回の春の一般公開のサポートには述べ12名、1日あたり5～6名の方の会員の参加協力をいただき、特に新加入の気賀さんのご夫婦、堀込さんも入会・参加をいただきました。

またガイドとして4名の方の協力をいただきましたが、ガイドのあり方について今後の検討事項を残しました。よろこんでもらえるガイドとは先ず私たち自身が演習林の良さを知り、相手の要望にあった場所をいかにガイドできるかということだと思いますので、今後の活動の上でも、会員皆さん自身がいつかガイドをすることを頭の片隅において活動していただけるとありがたいなと思います。



シコクハタザオ

4 月度 臨時ボランティア活動・報告

～ 特別巡林パトロール～

事務局 石川 輝雄

演習林への不法侵入車(者)不法採取者に対する取り締まりや看板・ゲートの鍵等の点検、林道調査などを目的とした特別巡林が4月29日(祝)と5月6日(日)に行われました。4月29日には恵さんと石川(輝)(れい)の3名、5月6日には岩崎・気賀さんのそれぞれのご夫婦4名が参加しました。若葉の一番美しい季節で普段の活動ではあまり出かけることのない小仁田林道や加勢林道の奥などの様子を十分堪能することができました。

今回は5月6日に参加されました気賀さんのご夫婦に印象を述べてもらいました。

ボランティア 気賀祥太郎

気賀 佳江

今年4月に、会長の岩崎さんの紹介で入会した気賀(きが)でございます。よろしくお願いいたします。

今回は、私共にとっては4月の春の一般公開のサポート活動に続いて2回目の参加で、演習林の職員の運転する車で天津事務所をはじめ、清澄、札郷、郷台の作業所ならびに広大な演習林の敷地内の林道につき特別巡林パトロールをさせていただきました。



フデリンドウ

お蔭様で千葉演習林の概要とそこに従事されている皆さんのお仕事の一端を肌で感じる事ができました。以下、当日の様様をご報告も申し上げます。

5月6日(日)一緒に参加する岩崎さんのご夫婦の運転する車で7時10分に木更津の自宅を出発し、久留里バイパス・亀山湖をへて演習林を南北につらぬく県道81号線(養老・清澄線)を南下し、8時10分に集合場所である清澄作業所に到着しました。

清澄作業所は清澄寺の入口の黒門の先を右に入ったところにあり、学生さん達が宿泊する鉄筋2階建ての宿舎、ログハウス、森林博物資料館も同じ敷地にあります。ログハウスの前からは鴨川の海を見渡すことのできる展望の良いところです。

ここで林長の山田先生と里見さんと集合しました。山田先生は東大教授で去年の9月から千葉演習林の林長に就任され、林長としてのマネージメントの傍ら、樹木の有害な病原菌の研究等をなさっておられる由、また里見さんは現在郷台作業所におられ、その前には清澄作業所や札郷作業所も勤務されていた演習林を熟知されたベテラン職員です。

この日は朝から低気圧と前線の通過にともなって100mm以上の降雨量が予想されており、終日かなりの雨が降りましたが、一行6名は里見さんの運転する車で予定通り8時40分に清澄作業所を出発しました。

最初の目的地は演習林南部の二夕間川(ふたまたがわ)に添って北上している本沢林道の巡視です。県道81号線を南下し坂本より左折してゲートを通ってから北上します。この林道の周囲は南房総特有の常緑天然樹の多いところですが、カエデも多く人工林のスギは80年生くらいで二次林の調査地域として10m×10mごとに区画され、その中の樹木の生長の様子を続けて観察している場所もありました。

本沢林道は演習林のなかでも主要な林道の一つですが、未舗装で道幅も車のすれ違いができないほど狭く、急峻な谷あり落石ありという状態で車がいける2kmの往復の距離がものすごく長く感じられました。里見さんの運転技術には敬服します。

清澄作業所に9時30分にもどり、次は郷台林道から猪ノ川林道をへて亀山湖方面へ抜けるコースの巡視です。

郷台林道は清澄作業所の門を左折するとすぐその先の左側にゲートが見えてここからはじまります。まもなく右側に上層木に大きなモミヤツガのある天然林があらわれます。

この道は元清澄山に通じる「関東ふれあいの道」になっていて、ハイキングのコースと

なっているので、先ほどの本沢林道に比べれば、道標もありよく整備されています。

ところどころ、スギやヒノキの人工林があるところを通り、途中右にわかれていた橋ノ沢林道を往復した後、再びゲートを通して郷台作業所に到着・周囲を見学しました。

この近くにスギの立派な見本林（牛蒡沢：スギ101年生 演習林の3美林の一つ）があるとお聞きしましたが悪天候でよく分かりませんでした。

郷台作業所を後にして猪ノ川林道を北上します。ここは春と秋の演習林の一般公開でおなじみのコースで黒滝の脇を通り亀山湖を経て、次に演習林の西北端に位置する三石山観音寺までの道路を往復します。戻って仲之台バス停の近くから南にのびている小仁田林道を往復した後に県道81号線を南下して11時15分に札郷作業所に到着しました。

札郷作業所は古い木造の建物です。長い使用で床板は磨り減ってはいますが、ぴかぴかに磨き上げられていたのが印象的でした。

ここで昼食をとらせていただいた後、雨が小止みになったので山田先生に同作業所の苗畑を案内していただきました。イノシシやシカの侵入を防ぐため、電気を通した線で囲われた柵の中でマツノザイセンチュウに抵抗性のある松などの苗が育てられていました。また、柵の外には珍しい花の群生もありました。

札郷作業所を12時40分に出発して、演習林北東部の石尊山方面に向かい、物見塚・小倉野からもどって仙石林道を巡回しました。その後、演習林の東側を南下して麻綿原に向かう予定でしたが途中雨で土砂崩れがあることがわかり、通行不能なので、再び県道81号線に引き



通行不能になってしまった林道

かえし沿岸部の安房天津まで南下し、演習林の東側の林道を北上して麻綿原に14時50分に到着しました。一杯水林道のゲートの施錠など確認した後、14時50分頃安房天津駅の近くにある天津事務所に到着しました。

初めて見る天津事務所は明治時代の洋館風の瀟洒な建物で、敷地内全体に何ともいえない風情がただよっておりました。林長の山田先生の執務室はここにあります。

これで予定の全行程の巡林が終了し、出発点の清澄作業所まで山田先生と里見さんにお疲れの中送っていただきました。

以上、あいにくの天候ではありましたが終日得がたい体験をさせていただきました。ご案内くださった山田先生、里見さんをはじめ、この企画を立案・実施して頂きました関係者の皆さんに心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

5 月度 定期ボランティア活動・報告

～ 造林研修会聴講と歩道標識杭の準備、設置～

ボランティア 堀込 光代

5月の定期ボランティア活動が5月21日(月)から22日(火)にかけて行われ、西山、近藤(禮)、石川(輝)さんと堀込の4名が参加しました。今回の活動内容は21日が造林研修会の聴講と歩道標識杭の番号刻印の準備作業、22日は麻綿原歩道(N65からN71)の杭と一杯水林道(S0からS35)の間の消失杭5本の設置作業です。



造林研修会の様子

以下、参加した感想を述べさせていただきます。

5月21日の朝9時00分に静寂で、すがすがしい空気たよう演習林の清澄作業所の構内に始めて入りました。車をとめて森林博物資料館の周囲の苔むしたモミやカツラなどの大木をながめながら周囲を良く観察すると色々な花が咲いていることがわかります。

通常、園芸の店で売っているような花も自然の状態にあるとおおいに感激します。耳をすませると数種の鳥のさえずりを聞くことができ楽しく幸せな一日目の始まりとなりました。清澄作業所や森林博物資料館の建物なども何ともいえない風情と厳かさを感じます。



清澄作業所

午前中は造林研修会の聴講です。造林研修会は演習林職員の皆さんの研究や仕事内容についての発表会で春秋の年2回おこなわれるそうです。このとき山の神様におまいりすることも恒例行事です。内容は素人の私にも、大変参考になりました。

昼食は食堂で職員の皆さんたちと一緒にカレーライスを食べながら午後の歩道標識杭の番号



番号刻印作業

刻印作業にはいりません。手回しの送風機の風で炭火をつくり、焼きコテを加熱してプラスチックの歩道標識杭に押し付け、番号を捺印していきます。必要な分だけつくるわけですが、必要分についてはNPO法人房総の野生生物調査会の皆さんが調べてくれています。初めての作業ですが珍しく興味も深く不出来ながらの体験作業でした。作業終了後、今回は清澄宿舎に宿泊しました。

翌2日は昨日作った杭を実際に設置する活動作業です。作業といっても、杭を打つ時間より、杭の位置の確認のために歩く時間の方が多いので周りの風景・樹木や草花などの植物の観察をすることが出来ます。群生している黄色なジャケツイバラの花の美しさに息を飲み、マルバウツギなどの白花もきれいでした。足元には青紫の花をつける可憐なコケリンドウや黄色のキンランなどもあり、みとれて堪能しました。

芽生えの頃のトリカブトも教えていただき、花が付いてない頃は他の草（例えばニリンソウ）などで見分けが付けにくいので注意が必要なお知らせがわかりました。

お世話になること多いものですが、本当に心洗われる贅沢な体験ができ、感謝しています。



マルバウツギの花

7 月度 ボランティア活動の案内 ～ 高校生ゼミナールサポート～

「高校生のための森と海のゼミナール」が、東大千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センター（鴨川市小湊）において、高校生を対象に行われます。活動のサポートをするボランティアが必要です。様々な実習や試験地見学、講義等があるので、千葉演習林を知るためにもよい機会になると思います。皆様奮ってご参加ください。

詳細内容は千葉演習林ホームページをご覧ください。

日 時 平成 **19** 年 **7** 月 **31** 日（火）～**8** 月 **2** 日（木）

（2泊3日、部分参加も応相談）

集 合 7月31日 13時00分 JR鴨川駅または上総亀山駅
途中よりの参加の場合は相談ください。

内 容 活動の補助、写真撮影など。

定 員 3名程度（女性が1名以上いると望ましい）
初参加者を優先します。

宿泊場所 31日 札郷学生宿舎（0439-39-3122）
1日 清澄学生宿舎（04-7094-1990）（予定）

費 用 全参加：4,140円（施設使用料 札郷宿舎200円、清澄宿舎540円、食費）
（予定）部分参加は応相談

持 ち 物 飲み物、筆記用具、野外活動ができる服装、地下足袋か布を巻いた長靴（ヤマビル対策として）、雨具、洗面用具、寝巻、リュック、懐中電灯、虫除けスプレー、ばんそうこう、健康保険証のコピー、常備薬、会員証など

キャンセル なるべく早めに、宿泊施設の都合上遅くとも2日前までに連絡下さい。

受付期間 7月1日（日）～7月13日（金）

申込方法 電話、FAX、E-mail のいずれか、集合・解散駅名も連絡ください。

参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

8月度 ボランティア活動の案内

～夏の森林教室サポート～

親子で川とふれあう～生き物観察会～というテーマで小中学生とその保護者10組が参加する「夏の森林教室」が行われます。(詳細：千葉演習林ホームページ参照)

この行事へのサポーターを募集します。元気な子供たちと夏の自然を過ごすのも大変楽しいことと思います。多数参加ください。

日 時 平成**19**年**8**月**4**日(土)(日帰り)

当日の小雨決行 数日前の雨で川の増水が著しい場合は中止

集 合 JR安房天津駅9時15分、JR安房鴨川西口9時45分
JR上総亀山駅10時15分

内 容 参加者の引率、自然解説、写真撮影など

定 員 5名程度

参加費 なし

持ち物 昼食、飲み物、雨具、タオル、ゴミ袋、筆記用具、リュック、敷物、軍手、保険証のコピー、常備薬、会員証など

服 装 長袖長ズボンの汚れても良い服装、長靴、帽子、

受付期間 7月1日(日)～7月20日(金)

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれかで**集合場所も含めて**申込み下さい。
参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.14 2007/6/30 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321